

情報を得る手段を複数確保

市の情報伝達手段

気象情報や避難情報は、テレビやラジオの他に、市からも複数の伝達手段で提供しています。どれか1つではなく、いざという時に備えて、複数を活用できるようにしておきましょう。



防災情報等メールサービス

防災行政無線の内容や、気象情報、市からのお知らせなどが登録メールに配信されます。

《登録手順》

- ①QRコードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信。
- ②数分以内に、返信メールが届きますので、本文に記載されたアドレスにアクセスして、登録ページへ。
- ③配信を希望する情報(防災情報・防犯情報・気象情報など)を選択し、「次へ」を押して登録内容を確認。
- ④登録を確定すると、完了メールが数分以内に届きます。



メール配信サービス
QRコード



登録用QRコード

※コードの読み取りができない方は、空メールを作成して下記宛てに送信してください。
bousai.otake-city@raidan.ktaiwork.jp
※スマートフォンや携帯電話に、迷惑メール防止設定などがされていると、メールが届かない場合があります。
「otake-city@raidan.ktaiwork.jp」からのメールを受信できるよう設定してから操作してください。
※メールの配信内容は、下記サイトでも確認できます。
https://otake-city.site.ktaiwork.jp/



防災行政無線放送

緊急性の高い気象情報や避難情報などを、スピーカーで放送します。大雨時や屋内では聞こえにくい場合も多いため、主に屋外にいる方向けです。

防災テレホンサービス

Tel.0120-590-131(無料)

防災行政無線の放送内容を、フリーダイヤルでいつでも確認できます。

市公式LINE

市公式LINEに登録することで、防災行政無線の内容や、市からのお知らせを取得することができます。



友だち追加はこちら

- ①LINEアプリホーム画面の「友だち追加」アイコンをタップする。
- ②「QRコード」アイコンをタップする。
- ③QRコードをスキャンして表示されたリンクアドレスをタップする。

※友だち追加後、必ず受信設定をしてください。



広島県は土砂災害の危険箇所が日本で一番多い県です。これから雨季を迎えると、大雨による地盤のゆるみで、土砂災害発生危険度が高くなる可能性があります。自分の命は自分で守ることを念頭において、次のようなことを心掛けておいてください。

6月は土砂災害防止月間

問い合わせ 危機管理課 ☎59-2119

住んでいる場所の確認を

市がホームページで公開しているハザードマップで、自宅が土砂災害の危険な区域に入っているかどうか確認しましょう。(土砂災害警戒区域・特別警戒区域など)



ハザードマップはこちらから。



浸水対策は早めに

大雨のとき、自宅が浸水するおそれがある場合には、事前に土のうを渡すことができます。使用後の土のうは回収しませんので、各自で処分をお願いします。詳細は、危機管理課までお問い合わせください。



早めの避難を心がけて

市は、警戒レベル3相当が発令された後、今後更なる悪化が見込まれる場合や、土砂災害危険警報の発表に応じて、「高齢者等避難(レベル3)」「避難指示(レベル4)」などの避難情報を発令します。自宅が土砂災害の危険区域にあり、避難に時間のかかる方は、レベル3で避難を開始してください。

れより前でも、在宅に不安を感じる方は、自主避難が可能です。迅速に避難行動がとれる方も、レベル4が発令されたら、避難を完了してください。

土砂災害からの避難は、危険な区域から立ち退くことが基本です。その際の避難先は、市が開設する避難場所だけでなく、親戚や知人宅、ホテルなど、自身が利用しやすい場所であればどこでも構いません。

避難できなかったときには？

状況が急激に悪化し、避難が間に合わなかった場合や、屋外に出ることがかえって危険となる状況では、家の中で上階の安全な場所(がけの反対側など)で安全確保をしてください。



	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

気象の警報などが大きく変わります

新たな防災気象情報は、河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮の4つの現象を対象とし、レベル4に対応する情報として、「危険警報」が設けられました。

数日～1日前

半日～数時間前

数時間～3時間前

2時間～0時間前

災害発生

レベル1 早期注意情報 ・災害への心構えを一段高める
・職員の連絡体制を確認する

レベル2 注意報 ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する
・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する

レベル3 警報 ・避難に時間がかかる**高齢者等は危険な場所から避難する**
・高齢者等以外の人にも必要に応じて避難の準備や自主避難

レベル4 危険警報 ・**危険な場所から全員避難する**
※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了

レベル5 特別警報 ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

ここまでに必ず避難！